



和歌山市毛見在住
花田 宗弘さん (65歳) ・ 恵子さん (?)

宗弘さん

趣味：登山
好きな色：ベージュ
好きな食べ物：甘いもの(生菓子)

恵子さん

趣味：絵を描くこと
好きな色：白
好きな食べ物：野菜なら何でも

みんなが集まれる場所を



マリナーシティに続く浜の宮海岸通りにある「浜の宮マリンサービス」とオーガニック・レストラン「カンタ・デル・ソル」(スペイン語で、太陽の歌)のオーナー夫婦は、店の前に広がる、広く大きい海のように、何でも受け入れてくれる、温かい爽やかなお二人です。

宗弘さんは、和歌山市で生まれ育ちます。高校卒業後は、石川県の大学に、そして、就職して名古屋で33年間暮らし、定年で和歌山に帰ってきました。恵子さんも、和歌山市で生まれました。幼い頃に両親を亡くし、親戚の家で育ちます。高校卒業後、神戸の大学へ進み、卒業してから宗弘さんと出会い、そして結婚。二人の子どもにも恵まれます。シンガポールで5年間暮らしたこともありましたが、お互い、和歌山を離れて暮らし、外から和歌山を見て、生まれ育った和歌山が好きになることがわかったといえます。帰ってきた時「和歌山が私を呼んでいる」と恵子さんは思ったそうです。



1階は「浜の宮マリンサービス」。レンタル、修理、チャーターを手がけます。
2階が、オーガニック・レストラン「カンタ・デル・ソル」
営/10:00~19:00
休/水曜日
和歌山市毛見996-2
TEL 073-444-2239

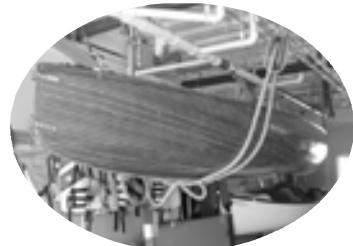
「今は『花の60代』ですよ。体力も70代に比べればまだある、時間がある、お金も40・50代に比べればまだある。働いている頃は、『金もうけ』が主でしたが、今は『人もうけ』でも言うんでしょうかねえ、好きなことができ、仲間や友達が増える。こんないいことはありませんよ」と宗弘さんは話します。

宗弘さんは、若い頃から、海や山などのアウトドアライフが好きでいろいろな所へ行っていました。結婚してからは、子どもをおぶって雪山に登ったこともあり、カヌーやヨットは、乗って楽しむだけでなく、自分でも作ります。ヨットは、単独太平洋横断航海した堀江謙一さんの乗った「マーマイド号」と同じ大きさのヨットなどを制作します。また、5年前には、ウクレレにも挑戦しました。今では、若い女性グループやフラダンスと合同コンサートを開催するまでになっています。

花の60代



カヌーとサーフボードが店内いっぱい。



制作中のカヌー

心のつながりが持てる場を

恵子さんは、名古屋にいた時に、有機農業と出会い、食の大切さを感じました。今は「NPO 環境ネットワーク」に所属し、「NPO 和歌山有機認証協会」の会員として、後の世代にいい環境を残したいと活動をしています。

名古屋時代には、有機野菜の協同購入、町立保育園の設立に力を注いだり、文化教室の開催、ミニコミ誌の発行など積極的に取り組んできました。その時に仲間や友達の大切さを知ったと言います。「みんなが集まれる場所を作りたい」。それには食べる所があれば集まりやすいだろうと考え、レストランをオープンしました。今後は、誰でも気軽に來れるカフェス



「カンタ・デル・ソル」のメモもオーガニックで安全安心です。1,050円。ランチメニューは、野菜をたっぷり使ったスープ、サラダ、デザートなどがあります。和歌山で暮らす方々との交流の場を創りたいと考えています。計画中です。

皆が集まる

恵子さんは、結婚して半年ぐらいいは泣いてばかりだったそうです。結婚前までは、人や物事に対して自分で垣根を作っていました。「一歩を踏み出すのが怖かった」と言います。自分の考えや行いを夫の宗弘さんが受け入れてくれて、垣根が徐々に取り払われてきました。それでうれしくて泣けてきたそうです。「今じゃ、長い紐をつけた放し飼い状態ですよ(笑)」と宗弘さん。

そんなおらかな宗弘さんと、明るい恵子さんのもとは、海の男たちが集います。近くを航海しているヨットマンは必ず立ち寄るそうです。ヨットマンならずとも、花田ご夫婦のもとを訪れてみてください。その温かさに触れると、不思議と心が爽やかになります。